

平成 26 年度 第 2 回武蔵野市環境市民会議 要録

日 時 平成 27 年 2 月 12 日 (木) 18 時 30 分開会 20 時 20 分閉会

場 所 武蔵野市役所 111 会議室

出席者 委員 12 名、事務局 6 名

(委員：田畑委員長、大江副委員長、飯沼委員、小玉委員、小松委員、志賀委員、田崎委員、白田委員、羽鳥委員、花俣委員、村越委員、郡委員)

内 容 1. 武蔵野市環境基本計画の改定について
2. その他

配布資料 資料 1 環境基本計画改定時のトピックス (一例)
資料 2 環境基本計画への反映イメージ

1. 武蔵野市環境基本計画の改定について

発言者	要旨
事務局	(説明)
委員長	事務局から事前に伝達された資料を参考に、各委員が感じている課題などについて、意見を伺いたい。
委員	ヒートアイランド対策について、屋上緑化や校庭芝生化に加えて、保水性舗装の導入等で熱の緩和が期待される。 小中学校での太陽光パネル設置について、第四中学校でもお願いしたい。災害時の電力確保になる。 古いブロック塀は危険であり対処が必要。 空き家問題への対策として再利用策に関心がある。 ごみ袋の有料化について、皆が慣れてしまった感じがある。 学校でのごみ分別について、子どもと一っしょに取り組めるとよい。
委員	緑の市民憲章という理念はすばらしい。 武蔵境のまちづくりが進む中で、緑がうまく組み入れられている現状を検証し、この理念を大切にしたい武蔵野らしい緑の政策を望む。 ごみについては、学校での環境教育が重要である。分別だけでなく、地球環境の視点においてごみ減量を教育でやっていきたい。 高齢者層ではごみへの関心が比較的低いため、高齢者への啓発も必要である。
委員	生物多様性について企業として何ができるか、市民の意見を伺いたい。 市民参加での緑化、農地保全につながる市民農園に関心がある。 自転車の走行スペース等の段階的な整備をするとよい。 事故の多い交差点等で、信号待ちのスペースの確保や景観づくり等の工夫を考えられたい。

発言者	要旨
委員	<p>自社では 10 年程前に品質と環境の管理について ISO 認証取得した後、燃料や廃棄物の減量が一定のレベルに達して頭打ちとなったため、途中から業務効率向上等を目標とするよう変更した。</p> <p>緑化の増進に関心がある。</p> <p>市域は平坦地形であるがゲリラ豪雨の水害が多いと知り、その対策が重要と考えている。</p>
委員	<p>二酸化炭素の排出量削減は、エネルギー事業者の立場としては省エネをお願いすることから始まる。</p> <p>エネルギー消費の見える化により省エネ意識が高まると考える。市庁舎には見える化のシステムが導入されている。</p> <p>電気、ガス、水道等の日頃の記録を推奨する。弊社が提供しているツールを活用いただけるとよい。</p> <p>街路灯、防犯灯の LED 化について、ESCO 方式が費用の確保と財政負担の軽減に役立つと考える。</p>
委員	<p>生物多様性は必要で、環境教育が重要となる。</p> <p>学校ビオトープを使った授業で見に来た保護者の様子から、生きものへの関心、愛情的な部分が不足していると感じた。ジャポニカ学習帳の虫の写真にクレームがついた件などはおかしな例である。</p> <p>いのちの生命のことを学ぶ環境教育が望まれる。</p> <p>ごみの行方や水の行方など、身近な環境の知らないところまで学べる、物事の根本を学べることには興味をそそられる。</p> <p>水の学校や野外学習等のように、楽しみながら総合的に学び、最後まで見届ける学習の場が望まれる。</p>
委員	<p>市民や企業の役割を具体化し、誰が何をやればよいかをはっきりさせた上で計画を推進したい。</p> <p>コミセンの活動として、安心安全のまちづくりの視点でまち歩きをして市へ要望を出した結果、放置自転車問題の改善、バリケードの改良、商店街の路上看板問題の改善といった成果があった。</p> <p>井ノ頭通りの街路樹の根元に草花を植える活動により、ごみのポイ捨てが減った。</p> <p>地域でできることをやっていきたい。</p> <p>マンションでの LED 導入等について支援があるとよい。</p> <p>多くの市民はコミセンに関心がなく、自治会組織がない状況で理解を広めることが難しい。</p> <p>環境についてみんなで勉強できる場所があるとよい。</p>
委員	<p>3 駅周辺では昭和 40 年代に建設されたビルが老朽化しており、耐震工事がなされない中小規模のビルが特に危惧される。</p> <p>相続等で住宅建て替えが進んでいるが、狭い道路がまだ多く残っており、防災や避難を妨げている。車が入れない道路の改善が望まれる。</p> <p>市内の移動には自転車便利であるが、歩道で徐行をしない、車道を逆走する、信号を守らないなどの問題が多い。自転車のマナーについては全国的な問題であり、免許制が必要かもしれない。</p> <p>緑と便利さとが共存するよう、すりあわせていく必要がある。</p>

発言者	要旨
委員	<p>小学校校長として、環境教育を実施するにあたり市民、国民、地球人の視点を段階的に取り入れることが重要と考える。</p> <p>小学1・2年生では家庭や学校、3・4年生では市、5・6年生では国や地球のレベルで環境教育を進めている。例としてクリーンセンターの見学、水道の学習、ガスの科学館見学などが挙げられる。</p> <p>学校に設置された太陽光発電設備が教育に活用されていないのではないかと考える。</p> <p>クリーンレンジャーでは、落ち葉堆肥やごみ減量を考えた。</p> <p>学校でのごみ減量で、600グラムにする難しさを実感した。</p> <p>地下水利用による井の頭池への影響を学んだ。</p> <p>ゲリラ豪雨の問題で、地下がある学校で被害があり、対応が必要と考える。</p>
副委員長	<p>議論は、各論と計画で目指す全体像とを行き来しながら進む。</p> <p>どの自治体でも似たような課題を扱う中で、武蔵野市の特徴、武蔵野らしさをどうやって出すかを考えたい。そのために、市内の実地を見学したい。</p> <p>新クリーンセンターが市内に建設できる状況、経緯も「らしさ」のひとつである。</p> <p>他方、エコセメントで埋め立てゼロとする取組など、多摩地域でつながっている。</p> <p>抽象的にいえば「らしさ」は、市・市民・事業者のコラボレーションにあるのではないかと考える。例えば、レジ袋対策、緑のネットワークの対策(取組)など。</p> <p>本市が有する信頼の蓄積とネットワークの強さ、個人とパブリックの間にある領域を、本計画に反映していきたい。</p>
委員	<p>多くの提言がまとまって「武蔵野らしい」計画になるとよい。</p> <p>環境問題は地球規模で考え足下で行動するといわれるが、武蔵野市でどのような取組をやって、どのような結果なのか、などが市民へ伝わっていない。</p> <p>行政は、ごみの行方や分別の理由、地下水を使って下水に流した先の処理のことなど、市民に伝えなくてはならない。</p> <p>総合的に環境について学習する場として、現クリーンセンター事務所棟を使ってエコプラザを平成31年に設置したいと考えている。</p> <p>行政の責務として、「なぜ？」を市民のみなさまに伝える努力を怠ってきたと考えているので、なぜそうなっているのか、根源を明らかにすべきと感じている。</p> <p>最近、人口減少社会での消滅可能性都市の報告が注目されている。自分は、そのような時代の転換点において何ができるのかを考えさせられる。この環境基本計画のタイムスケールにも関係する。</p>
委員長	<p>皆さんが感じている問題を踏まえて、リアルなことについてまとめていくのがよいと考える。</p> <p>臭気や景観など、五感で捉えることも大事であると思うが、長い間・10・20年先の景観など。武蔵野市は景観計画・条例も作っていない。吉祥寺があるなど難しいかもしれないが、五感でとらえるような視点もどう考えたらよいのかと思う。出ていないところでは、ふるさと歴史館など、古い道具が置いてある。歴史と文化と環境、今までの環境基本計画ではあまり扱っていない、抜けているが、基本的な考え方の中に市内に残すべき、歴史・文化・空間などについて、今回は組み入れられるとよい。</p>

発言者	要旨
委員	本市は多摩地区で 23 区と接する位置にあり、吉祥寺の繁華街と、都市農業 80 世帯が共存することが「らしさ」だと思う。 農地の代替わりが進み、生産緑地が減ると考えられる。
委員	大きな家の代替わりでは分割されて庭や木がなくなるか、幹線道路沿いではマンションになっている。
委員	市は平成 14 年に、売買する土地区画の最低面積を定めたが、市民からの反対が多かった。
事務局	(欠席委員から書面提出された意見を紹介)
副委員長	宅地の細分化に見られるように、環境保全と開発とのバッティングが生じている。環境の望みを上位にもっていける手法の部分の整理されたい。
委員	以前は、本会議の前身である環境審議会の提言を得て、政策を推進した経緯もある。所管部署との調整も必要になるが、これからもそれにならいたい。
委員長	ここでの意見を無駄にせず、計画の中に組み入れ、何らかの形で実行することが望まれる。

2. その他

発言者	要旨
事務局	アンケートについて、現計画策定時からの経年変化を見るため、おおむね前回と同様の内容で実施したい。内容については正副委員長と打ち合わせ後、委員の皆様にご意見を伺いたい。 次回の環境市民会議は 3 月上旬で日程調整する。 スケジュールでは、5 月に中間のまとめを作成し 6 月には公表する予定である。
全員	(特に意見、質問はなし。)